

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

 **BLACK BORDERS**

- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problem Mailbox.**

(11)日本特許庁 (JP)

(12)公開実用新案公報 (U)

(13)実用新案出願公開番号

実開平6-56310

(4)公開日 平成6年(1994)8月5日

(51) (a) (i)

ED47 15/04
B27M 3/04

機別記号 研内装及番号

F 7805-2E
2101-2B

F1

技術表示箇所

特許請求 有 請求項の點1 ～ 10 (全2頁)

(21)出願番号

実開平5 2838

(22)出願日

平成5年(1993)1月7日

(71)出願人 000204985

大達工業株式会社

富山県東礪波郡井波町井波1番地の1

(72)考案者 山上 佑

大阪市北区中之島2-3-18 大達工業
株式会社内

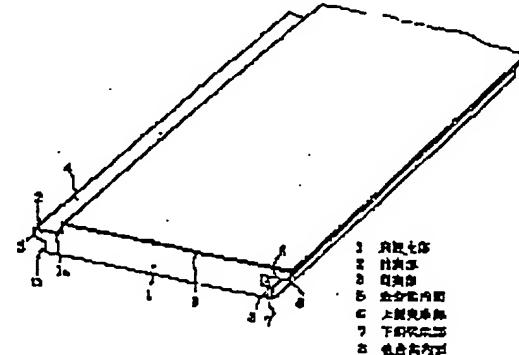
(74)代理人 弁理士 山本 子

(54)【考案の名称】床

(55)【要約】

【目的】 目並突部の端部が内側に行われて施工性に優れた床板を提供する。

【構成】 床板主体1の一側端部中央に突起した端突部2の先端面を上端から下端中央部に向かう円錐状の嵌合部内面5に形成すると共に該端突部2の上面を端部の嵌合平坦面4に形成する一方、他側端部中央に凹陷した端突部3の上側突起部6を下側突起部7よりも大きく突出させると共にその突出端面を円錐状の嵌合部内面8に形成した構造を有し、先に施工した床板の端突部2の嵌合平坦面4上に次に施工する床板の端突部3の上側突起部6の内側部嵌合部内面8を当接させ且つ下側突起部7の先端を端突部2の円錐状嵌合部内面8に当接させた状態にして嵌め合わせるように構成している。



【実用新案登録請求の範囲】

【請求項1】 一定厚みを有する長方形状床板主体の一側端面の中央部に越実部を、他側端面の中央部に底板実部が嵌合可能な形状を有する越実部を夫々設けてなる床板において、越実部の上面突出部を下面突出部よりも低い底板平坦部に形成すると共には越実部の突出部の上面から越実部の下面間を斜め内方に傾斜する円錐状の嵌合部内面に形成し、さらに、越実部の上下突起部における上側突起部を下側突起部よりもその突出部を長く形成していると共にその突出端部を上端から越実部の端口より端部に向かって斜め内方に傾斜する円錐状の嵌合部内面に形成していることを特徴とする床板。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本考案実施例の一部を示した斜視図。
【図2】 その底断面図。

【図3】 施工状態を示す断面図。

【図4】 組合した状態の断面図。

【図5】 嵌合部を示す断面図。

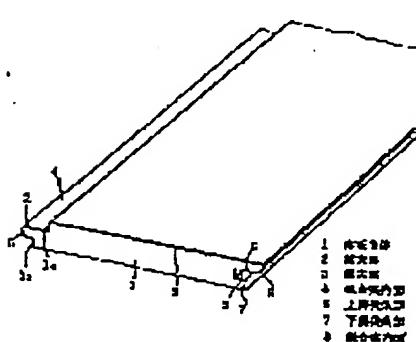
【図6】 その施工状態を示す断面図。

【図7】 他の構造を有する嵌合部の断面図。

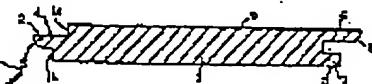
【符号の説明】

1 床板主体
2 越実部
3 越実部
4 嵌合部平断面
5 嵌合部内面
6 上側突起部
7 下側突起部
8 嵌合部内面

【図1】



【図2】



【図3】



【図7】



【図4】



【図5】

